

殿

G20サミットを前にした TPPに関する緊急要請書

平成24年6月11日

TPPから食と暮らし・
いのちを守るネットワーク宮城
代表世話人 菅原章夫
代表世話人 齋藤昭子

宮城県協同組合こんわ会
会長 菅原章夫

G20サミットを前にしたTPPに関する緊急要請

4月30日の日米首脳会談では、オバマ大統領から、自動車、保険、BSEについて関心の表明がなされた。

現在、政府は「情報収集のための事前協議」を行っているが、米国と水面下で調整や交渉を行っていると言わざるを得ないマスコミ報道が相次いでいる。

野田総理は、4月18日の参議院予算委員会で「国民の理解が進んでいないとか、きちっと国会のなかで審議をしていないという状況のなかで、何でもかんでもすすめるということではない」と発言しているが、マスコミ報道のみが先行し、国民不在のまま、与野党の国会議員にまでも情報を開示しない姿勢や、関係閣僚との間でさえ情報を共有していない事態は、異常と言わざるを得ない。

については、情報開示が行われず、国民的議論も国民合意も全くない状況で、G20サミット前に交渉参加入りを表明することや、なし崩し的に手続きを進めることのないよう、政府に対し、下記の内容を強く要請する。

記

1. 徹底した情報開示と国民的議論を行うこと

政府は、米国が関心を表明した3分野に関して、どのように対処するつもりなのか、米側とどのような協議を行っているのか、まったく明らかにしていない。

いずれの分野も、国民の生活に大きな影響を及ぼす重大な問題であり、政府は、何よりもまず徹底した情報開示のもと、国民的議論を行うべきである。

2. なし崩し的な交渉参加を行わないこと

国民的議論や国民合意が全くない状況で、万が一にも交渉参加表明を行うことや、なし崩し的に交渉参加に向けた手続きを進めることは、国民に対する背信行為であり、断じて認めることはできない。

平成24年6月11日
TPPから食と暮らし・いのちを守るネットワーク宮城
宮城県協同組合こんわ会